

寺田町駅 (JR環状線) ①

聖徳太子ゆかりの舎利尊勝寺へ



「大阪あそび歩マップ集」
その2 No.091

JR寺田町駅

寺田町という地名の由来は、四天王寺社領の田圃があったことからといわれています。江戸時代には天王寺蕪が栽培され、与謝蕪村が「名物やかぶらの中の天王寺」と賞賛しています。

① 竜田越奈良街道

奈良街道で龍田大社付近を越えることから竜田越といえます。飛鳥時代に難波津・四天王寺と斑鳩里・法隆寺を結ぶ街道として整備されました。聖徳太子もこの街道を往復していたといえます。

② 源ヶ橋跡

その昔、猫間川（現在は暗渠化して猫間川筋という道路になっています）の渡し守で源兵衛という男がいましたが、じつは通行人を殺めて金品を強奪する悪党でした。ところが、いつものように殺してしまった旅人が長年、行方を探していた実の息子で、深く後悔した源兵衛は出家して有源上人となりました。さらに罪滅ぼしとして貯めていた悪銭で、猫間川に伽羅香木の橋を架けたといえます。現在は交差点の名前だけが残っています。

③ 沖見地蔵尊

文化8年(1811)、有源上人が建立しました。もとは源ヶ橋のほとりにありましたが、猫間川の暗渠化工事の際に現在地に移されました。

④ 源ヶ橋温泉

昭和12年(1937)建築。平成10年(1998)に銭湯建築として初めて国の登録有形文化財に指定されました。入口に源ヶ橋の欄干を模して作られた石柱の看板があります。また窓の両端に2体の「自由の女神」がありますが、これは「ニューヨーク」と「入浴」をひっかけたものといわれています。



⑤ 生野商店街

東西約1キロに及ぶアーケード商店街です。昭和初期に開業した大阪市設生野公設市場などが前身です。

⑥ 生野八坂神社

もとは摂津国東成郡林寺村（旧地名）の氏神です。顔の輪郭がぼやけてしまった年代ものの狛犬や、境内にある大楠（大阪市指定保存樹）は見物です。

⑦ 舎利尊勝寺

用明天皇(在位585~587)のころに生野長者と呼ばれる富豪が住んでいましたが、言葉の不自由な息子が生まれて悩んでいました。そこで聖徳太子に相談すると太子は子供に向かって「私が前世に預けた仏舎利を返しなさい」と問いました。すると子供は口の中から3つの舎利を出して普通に話せるようになりました。太子は舎利を四天王寺、法隆寺に納めて残りの舎利を長者に渡し、感激した長者は舎利寺を建立したといわれています。「生野」という地名は、この生野長者の物語から来ています。



JR寺田町駅

